

# 雑木林ファンクラブ通信

住所 〒 247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 横浜自然観察の森 | Tel:045-894-7474

## 小よく大を

居ながらにして折々の虫や鳥の声・姿に季節の移ろいを感じる幸せ。さしもの猛暑が暦通りに治まった処暑。その数日前にアカトンボ第一陣が山から戻り、カネタタキが秋到来を告げる一方でフィナーレを迎えた蝉合唱団は有終のハーモニーを響かせている。

その合唱団にこの夏クマゼミが初参加。一昨年迄の活動舞台は本郷台駅周辺だったから2年で約1.5 km北上したことになる。当地区デビューは奇しくも北京オリンピック開会式当日。以来シャッシャッシャッの声を合図にテレビのスイッチON。生来スポーツ無縁の身が“見るまいと思えど今日のアスリート”とばかりに「小よく大を、柔よく剛を制す(註)」画面に釘付けされた8月。明けて9月のパラリンピックTV観戦を導く声の主は果して何か。

ところで、「小よく大を～」を連想させる名を持つ小さな巨木の花が今を盛りと咲いている。樹高三尺に満たぬ草と見紛う灌木の細くしなやかな茎は、その外見に似ず馬(駒)を繋ぎ留める強靭さを持つが故に駒繋ぎ・コマツナギ。その丈夫な茎を支える根の深さや張り具合は如何ばかりと引き抜こうとしたが、抜くに抜けず引くに引けずで命名の妙に納得。そのコマツナギを初めて見た時は生育不良のハギ(ヤマハギ、秋の七種の一)だと思い、次にマルバハギと見誤り、コマツナギと判ったのは次の年。同じ三出複葉のハギとマルバハギはともかく、奇数羽状複葉のコマツナギとの区別はつきそうなものだが、思い込みとは恐ろしいもの。晩夏から初秋にかけて複葉の葉腋から花序を出す紅紫色で蝶型の花は総てハギと信じて疑わなかった。論理的思考力欠如に加え、探究心ゼロの野遊び一辺倒人間は、何によらず違いが判るまでには時間がかかる。

それはともかく、根茎に着目した先の通説とは別に“馬肥ゆる秋”に相応しい説がある。コマツナギの葉と花が好物の馬は美味しい餌につられてその場に留まり逃げ出さないのだとか。食いに勝てないのは人も馬も同じらしい。それにしても、叢生するとは言え馬一頭を繋ぎとめる葉と花の量となると・・・野暮な詮索はさて置き、咲き上がる総状花序の花の向き三態【①ツボミ上向き②直角(正面)開花③受粉後下向き】とチョウやハチの吸蜜・受粉とのあいだに相関関係は有りや無や?気になるところだ。

朱鷺

註) 出典は中国の兵法書「三略」の由。

柔道家・故三船久蔵十段への贅辞として知られる



マルバハギ

## 1. 活動報告

- ① 8月2日(土) 晴 27名 草刈(駐車場)、炭小屋屋根ペンキ塗り、午後:納涼会
- ② 8月9日(土) 晴 15名 炭小屋外壁防腐剤塗装、
- ③ 8月16日(土) 晴 17名 炭窯周りの柱防腐剤塗装、ベンチ材加工、午後:運営会
- ④ 8月23日(土) 晴 12名 製材、ベンチ材加工



安全ベルトを着けて作業。屋根は水色のルーフペイント、壁はブラウンの水性防腐剤。落ち着いた色に仕上がりました。

ミズキの木陰で納涼会。炭小屋にあった真竹からだと言う手作りの尺八で“ちりとてちん”の「ふるさとがある」を吹く村松さんと鈴木さんに拍手拍手。調律に苦労したそうです。

## 2. 運営会報告 8月16日(土) 1300 ~

- ① 8月下旬・9月の作業打ち合わせ… 別項のとおり
- ② その他関連事項の打ち合わせ
  - ・ 9号緑地下見に際しては、事前に整備方針を打ち合わせ確認の上、実施する。

・ 9月勉強会のテーマは、ロープワーク、チェーンソー刈払機・工具・道具類の手入れについての希望が寄せられた。再度打ち合わせ。例年であれば、ゴミ拾いと草木の観察。炭焼きに関して。窯の夕刻仮しめ翌朝再開では良い炭が焼けない。中断せずに通夜炭焼きが望ましい。炭焼きに際し、夜間に泊まってくれることのできるセンター・レンジャーの体制を確認したい。

・トウネズミモチの除伐に関し、9月中旬に伐って乾燥させると 11月頃炭焼きを行うことができる。除伐作業については適宜、作業に組み入れ実施する。

・炭焼き窯のトタン屋根の塗装を引き続き実施する。・長光寺(JR本郷台近く)より依頼されている孟宗竹林の間伐作業については、11月頃実施することとし、片岡さんが先方と調整する。

③ ZFC会報について・

ZFC会報は1991年4月に第1号が発行され、以降毎月発行されてきてこの9月号で206号になる。1999年からは、朱鷺のペンネームで、石川トキさんに巻頭のページを随筆で飾っていただききて既に通算100件を超えました。その間、一部会員が投稿することもあったが、毎月のことでもあり石川さんに大きな負担をかけている。石川さんの負担軽減策を相談した結果、次の通り実行することとした。

“石川さんには、2か月毎に引続きお願いする。

9月号は石川さん。あいだの月には、ZFC会員が持ち回りで原稿を書く

10月号から。テーマは自由(子どもの頃の行事や思い出、森への思い山歩き等など何でも可)。

40文字x 30~35行。

初回(10月号)は江崎会長(欠席裁判!で出席者全員がきめた)にお願いする。

原稿を書いた者が次回の執筆者を指名する。

④ センターから・2007年度調査報告書が完成した。ZFCからは炭焼き実績のデータを報告。

3. 9月の活動予定

- ① 9月6日(土) 草刈り(クヌギ林)
- ② 9月13日(土) 草刈り(池ノ上)、午後・勉強会
- ③ 9月20日(土) 炭小屋周辺整備、9号緑地下見
- ④ 9月27日(土) 製材、ベンチ作り

他に、懸案事項を適時組み込む。トウネズ除伐、炭焼き(?) etc.

毎水曜日は自主活動。

4. その他

- ① 9~10月にかけて刈払機、チェーンソーの講習会が夫々開かれます。詳細は朝礼で。
- ② ゴロ報を同封します。

以上